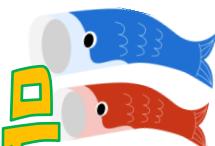
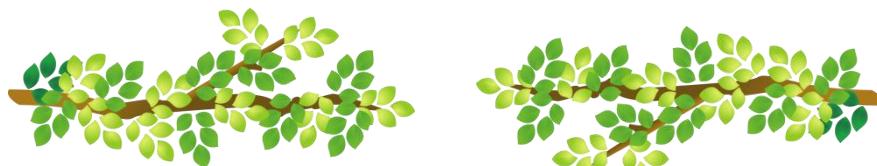


わんにゃん通信 H21.5月号



暖かくなってお出かけ日和ですね！GWは出かけたいなあと考えてはいますが、どこに行こうかなあ・・・

今回はフィラリアの検査実施中！ということでフィラリアについてのお話です



犬フィラリア症とは？

蚊が媒介する寄生虫、フィラリアが肺動脈や心臓に寄生することにより発生します。

多数寄生することで血液の流れが妨げられ、様々な障害が発生し、放置することで死に至る場合もあります。

主な症状

- ・慢性的な咳をする
- ・元気がなくなり、運動を嫌うようになる
- ・急激に痩せる
- ・血尿が出る
- ・お腹が膨らむ

ライフサイクル

メスのフィラリア成虫が産んだ子虫（ミクロフィラリア）が感染犬の血液中を流れる



心臓に寄生し、6~7ヶ月で成熟し、子虫を産むようになる

幼虫は2~3ヶ月かけて成長し、心臓へ移動する

この時期に薬を投薬して、駆虫します



感染犬を蚊が吸血した時に子虫が蚊の体内に入り、感染力のある幼虫まで成長



幼虫を持った蚊が吸血する際に、幼虫が犬の体内に侵入。

予防

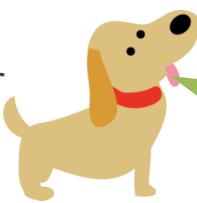
蚊に刺されたことによりフィラリアに感染しても、**幼虫が心臓に到達する前に**月に1回ずつ薬を飲むことで、感染して1ヶ月後にまとめて駆除をします。そのため蚊がいなくなっても1ヶ月後には薬を飲ませて駆除しましょう。

シーズン最後の投薬が一番重要です！

この時に投薬を忘れると、蚊の発生シーズンの最後に刺され、寄生してしまったフィラリアを駆除できません。
そのシーズンの投薬がすべて無駄になってしまいます。

感染している状態で予防薬を投薬すると重篤な副作用を起こすことがあります。

必ずフィラリアに感染していないかを検査をして投薬しましょう！



予防薬



お肉タイプ



錠剤タイプ



注射タイプ



お肉タイプ



錠剤タイプ



スポットタイプ



GWの診療時間について

5月2日 通常通り

5月3日～5月6日 休診

5月7日 通常通り

緊急の方のため9時から10時までの**1時間のみ**診療いたします。
その他、緊急のかたは
0120-7974-11まで